

C0803 緑の状況

都市計画区域内における現存緑地面積は、3,065.3haであり、そのうち山林が2,457.5ha(80.2%)、次いで農地が461.5ha(15.1%)となっており、山林が広く分布している。栄町公園をはじめとする公共緑地は36.6haで全緑地面積の1.2%である。

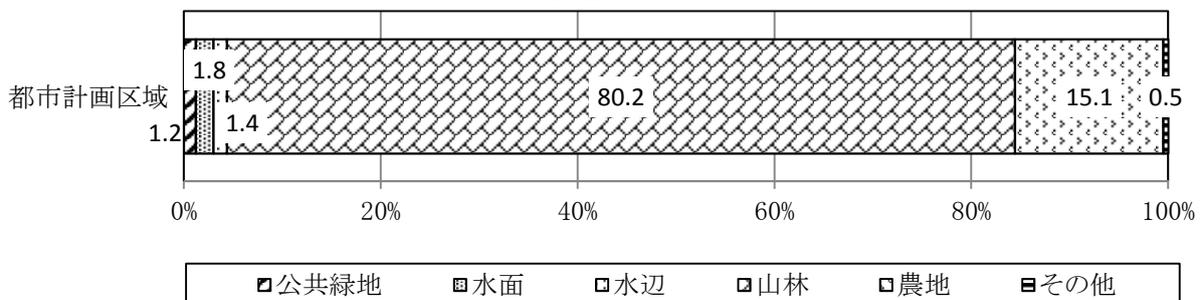
表8-3 緑の状況

(単位:ha,%)

区 分		都市計画区域	構成比
公共緑地	公園、緑地	10.0	0.3
	広場、運動場	26.5	0.9
	墓園	0.1	0.0
	その他の	-	-
その他の緑地	水面：河川、湖沼、水路	53.8	1.8
	水辺：海浜、河岸、湖畔	41.5	1.4
	山林、原野等に類するもの	2,457.5	80.2
	農地、牧草地等に類するもの	461.5	15.1
	社寺、境内地、墓地等に類するもの	5.0	0.2
	給排水その他処理施設等の公共公益施設附属緑地	0.0	0.0
	遊園地・施設公園・施設分区園等に類する民営施設	0.1	0.0
	共同住宅、工場緑地等に類する施設	0.0	0.0
	学校、企業厚生施設等に類する施設	9.2	0.3
	林業試験場、農業試験場等に類する試験場等・研究所	0.1	0.0
合計	3,065.3	100.0	

面積は図面計測値

図8-3 現存緑地量の計量



9. 公害及び災害

C0901 災害の発生状況

過去10年間に大規模な災害は発生していないが、近年豪雨による災害が増えている。

表9-1 災害の発生状況

通称	発生年月日	町内の主な被害状況
台風15号及び豪雨	平成23年9月15日～14日	台風15号による被災
雨(土砂災害)	平成25年4月4日	前日の雨により土砂災害が発生、林業関係に被害
台風18号及び豪雨	平成25年9月15日～16日	台風18号による被災
土砂災害(芦平地区)	平成27年11月30日	幅20m、高さ35mにわたり斜面が崩壊、墓と畑の一部が崩落

資料:庁内資料

C0902 防災拠点・避難場所

居住者、滞在者等の生命、身体の安全を確保するために、避難予定場所を地域毎に定めており、災害時の避難場所として、避難施設35か所、避難地36か所、洪水時避難地が7か所指定されている。

表9-2 防災拠点・避難場所

名 称	避難場所※1			名 称	避難場所※1		
	指定避難施設	指定避難地	洪水時避難地		指定避難施設	指定避難地	洪水時避難地
本間公民館	◎	◎		小海中学校	◎	◎	◎
宮下多目的集会施設	◎	◎		小海保育所	◎	◎	
本間川公民館	◎	◎		小海小学校	◎	◎	
小海高校	◎	◎	◎	小海なかよし児童館	◎		
溝の原集会施設	◎	◎		本村公民館	◎	◎	
五箇特産品加工施設	◎	◎		中村生活改善センター	◎	◎	◎
馬流多目的集会施設	◎			本村保育所跡地		◎	
杉尾集会施設	◎	◎		松源寺			◎
二夕小池集会施設	◎	◎		親川多目的集会施設	◎	◎	
鎰掛公民館	◎	◎		川平公民館	◎	◎	
北牧楽集館(旧北牧小学校)	◎	◎		親川多目的グラウンド		◎	
小海町総合センター	◎	◎		笠原多目的集会施設	◎	◎	
社会福祉センターやすらぎ園	◎			宿渡多目的集会施設	◎	◎	
小海町役場		◎		東馬流公民館	◎	◎	◎
八那池公民館	◎	◎		小海原多目的集会施設	◎	◎	
旧松原保育所	◎	◎		消防拠点			
松原集会場		◎		南部消防署			
稲子農事集会場	◎	◎		第1分団詰所			
芦平集会場	◎	◎		第1分団東馬流班詰所			
稲子野菜集荷所		◎		第2分団詰所			
土村公民館	◎		◎	第2分団鎰掛班詰所			
芦谷集会場	◎	◎		第3分団稲子班詰所			
箕輪集会場	◎	◎		第3分団八那池班詰所			
大畑公民館	◎	◎		第4分団詰所			
卒道公民館	◎	◎		第5分団詰所			
大州集会場	◎	◎	◎	第6分団三区班詰所			

※1 該当するものに◎を記載。

資料:小海町ハザードマップ

表9-3 消防水利の状況

署 別	消火栓			防火水槽			備 考
	合 計	基 準	基 準 外	合 計	40m ³ 以上	40m ³ 未満	
南部消防署 (小海町)	445	46	399	49	38	11	

資料:2019消防年報(佐久広域連合消防本部)